

《企業紹介》

同社はベトナムの証券会社である。個人や法人向けの証券仲介サービス、資産運用、投資銀行などの総合金融サービスを展開している。2025 年 7－9 月期のホーチミン市場での証券ブローカー業務シェアは 11.8%で 2 位となっており、ベトナムの大手証券会社の一角を占めている。また、法人顧客に欧米の大手商業銀行やベトナムの大手企業が多数あり、国内では高いブランド力を誇っている。なお、日本の大和証券グループが 15%余の株式を保有する筆頭株主となっている。

《2025 年 7－9 月期業績》

2025 年 7－9 月期の営業収入は前年同期比 106.7%増の 4.0 兆 VND（ベトナムドン）となった。資産関連収入が金融資産売却益の大幅な増加によって同 100.8%増の 2.1 兆 VND に拡大したほか、株式市場の活況を反映し、証券仲介業務関連収入が同 115.9%増の 1.9 兆 VND となった。内訳をみると、委託手数料収入が同 171.2%増の 9,223 億 VND、顧客向け貸付金からの収入が同 83.2%増の 1.0 兆 VND となり、市場環境だけではなく、個人投資家を中心とした顧客からの高い支持（シェア拡大）も収入増加に大きく寄与したと考えられる。なお、委託手数料収入は 2021 年以降の最高水準(2021 年 10－12 月期の 7,921 億 VND)を更新した。

営業費用は同 155.0%増の 1.5 兆 VND と、営業収入の伸びを大きく上回って増加した。証券仲介業務関連収入に対応する費用は同 65.1%増の 5,184 億 VND と抑制的だったが、資産関連収入に対応する費用が金融資産売却損等の増加によって同 261.8%増 1.0 兆 VND に大きく増加したことが響いた。この結果、純営業収入は同 84.6%増の 2.5 兆 VND となった。

営業利益は同 90.4%増の 1.7 兆 VND と、四半期ベースの過去最高水準を更新した。一般管理費は同 8.2%増の 583 億 VND、金融費用は同 81.1%増の 6,641 億 VND と、いずれも純営業収入の増加ペースを下回り、営業利益の増加ペースを押し上げた。税前利益は同 90.3%増の 1.7 兆 VND、純利益は同 91.1%増の 1.4 兆 VND となった。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	1,974.8	1.7	2,221.3	8.5	2,106.3	6.8	2,909.1	29.6	4,081.2	106.7
資産関連収入	1,052.0	19.7	1,137.8	1.4	1,124.3	11.7	1,528.5	35.8	2,112.1	100.8
証券仲介業務関連収入	902.5	-10.3	924.2	8.8	959.2	4.8	1,364.1	24.6	1,948.5	115.9
その他	20.3	-63.9	159.2	111.3	22.8	275.4	16.6	-35.4	20.6	1.5
営業費用	618.2	-5.3	1,205.4	30.1	595.9	3.1	1,092.8	32.4	1,576.5	155.0
資産関連収入に対応する費用	287.6	65.3	702.2	64.6	311.7	60.1	699.8	61.4	1,040.6	261.8
証券仲介業務関連収入に対応する費用	314.0	-25.6	380.3	-4.6	272.3	-26.6	375.2	-0.6	518.4	65.1
その他	16.6	-70.7	123.0	21.9	11.9	-1.7	17.8	26.1	17.4	5.0
純営業収入	1,356.6	5.3	1,015.8	-9.4	1,510.4	8.3	1,816.3	27.9	2,504.8	84.6
一般管理費	53.8	-33.6	92.7	-18.9	46.2	-39.4	65.9	16.6	58.3	8.2
金融費用(マイナスは収入)	366.7	12.0	367.0	1.1	448.5	22.6	606.8	88.0	664.1	81.1
営業利益	936.0	6.4	556.1	-13.6	1,015.7	12.9	1,143.7	9.9	1,782.4	90.4
税前利益	936.6	6.4	554.8	-13.9	1,017.5	13.0	1,143.9	9.9	1,781.9	90.3
純利益	749.9	5.5	427.7	-17.0	819.1	12.6	922.6	10.4	1,433.2	91.1

注1 営業収入の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。トレーディングは各種売買益及び評価益、サービスは委託手数料や証拠金取引の貸付金利息、引受手数料、コンサルタント手数料が、
注2 営業費用の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。トレーディングは各種売買損、評価損及び取引コスト、サービスは対応コストや証拠金取引の貸倒費用が含まれるが、支払利息は
注3 2024年10-12月期の数値は単独ベースの速報値
出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 有効期限作成日より 180 日 News20251021
主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

サイゴン証券 (SSI)



《株価の推移》

同社の株価と VN 指数を、2024 年 12 月末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は VN 指数をアンダーパフォームする状況が続いていたが、7 月以降株式市場の環境が好転すると、その差を一気に縮小し、7 月中旬にはアウトパフォームに転じている。10 月 20 日時点の 2024 年末比上昇率は VN 指数の 29% に対し、同社の株価は 46% となっている。また、10 月 20 日終値 37,950VND で計算した時価総額は 78.7 兆 VND で、これは 2024 年 12 月期実績の純利益 2.8 兆 VND の 28 倍となっている。

同社は 2025 年 12 月期について、営業収入を前期比 13.7% 増の 9 兆 6,950 億 VND、税前利益を同 20.0% 増の 4 兆 2,520 億 VND としている。2025 年 1－9 月累計実績で計算した進捗率は、営業収入が 94%、税前利益が 93% となっている。7 月以降の株式市場の好転に加え、これまでの営業基盤強化策が奏功し、計画の進捗状況は極めて良好な状態と評価することができるだろう。

10 月 7 日午後（ロンドン時間）、FTSE ラッセルは、ベトナム株式市場のカテゴリーをフロンティア市場から新興市場セカンダリーへ格上げすることを決定した。正式な組み入れは 2026 年 9 月 21 日となっている。今後、高い経済成長が見込めるベトナム株式市場が、世界の機関投資家や富裕層の関心を集めることになるだろう。海外投資銀行との大きな資本力の差といった高い壁や、厳しい顧客獲得競争が予想されるが、ベトナム国内に強い顧客基盤を持つ同社にとっては大きな飛躍のチャンスになる可能性もあるだろう。足元の収益動向だけでなく、どのような戦略でベトナム資本市場の変革に臨むのかといったことについても、引き続き注意深く見守る必要があるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20251021

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。